

2018年 プログラム近況報告

コンゴ民主共和国 カンボブ地域開発プログラム

 ご支援により、地域の子どもたちが
よりよい環境で育つことができます



カンボブの子どもたちのための、皆さまの尊いご支援に感謝いたします。

今年一番の成果は、新たに2教室が新設され机とイスも設置できたことです。以前は210人の生徒が床に座り、膝にノートをのせて勉強していました。教室を新設したことで、彼らの学習環境は大きく改善しました。

一方で、すべての子どもたちが学校に通えるようになることは、カンボブ地域の大きな課題です。残念なことに、遠方に住む子どもたちは、家から16キロも離れたところにしか、学校がないのが現状です。皆さまの継続したご支援により、今後このような子どもたちが学校へ通えるように、努力していきたいと思えます。子どもたちに笑顔を与えてくださる、皆さまの温かいご支援に重ねて感謝申し上げます。

カンボブ地域開発プログラム マネージャー
パトリック・シンバ

今年も地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます！



チャイルドの絵 「交通手段」 (ボアズ、13歳)



チャイルドの絵 「わたしの住んでいる村」 (ジョスレイン、15歳)



チャイルドの絵 「カトリック教会」 (ジャン ジャック、13歳)



チャイルドの絵 「ぼくの学校」 (ジョセフ、12歳)

健康状態が改善しました

子どもたちの栄養状態が改善しました。549人の子どもたちの栄養状態を確認し、30人の栄養不良状態だった子どもたちが治療を受けました。

多くの子どもたちが病気から守られました。予防接種についての啓発活動を保護者向けに行い、3,277人の子どもたちが予防接種を受け、予防が可能な病気から守られました。

教育を受けました

若者たちは将来に向けて準備を始めています。35人の若者が貯蓄グループに参加し、起業研修に出席しました。若者たちはお金の管理や小規模ビジネスの始め方を学んだ後、パン屋や雑貨店を始めています。

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

さらに多くの子どもたちの出生登録が行われました。保護者向けに、出生登録を行う重要性についての啓発活動を行い、2,250人の子どもの出生登録が行われました。登録が行われたおかげで、子どもたちは学校へ通うことや、公的なサービスを受けることが出来るようになりました。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

多くの若者が、地域の人を愛し、助け合うことを学びました。若者グループの活動を通して、3,060人の子どもたちがほかの人びとと良い関係を築くこと、そして大切にすることを学びました。

子どもたちが、自分が価値ある存在だと感じるようになりました。153人の子どもたちが、子どもの権利について学び、暴力の被害にあった時の対応方法について学びました。



ご支援に感謝します

「以前は床に座って勉強していたのですが、今は新しい教室と机が来たので、勉強がしやすくなり、学校へ通うのが楽しくなりました」

ベネディクテちゃん、(7歳、写真中央のカメラを向いている女の子)



「以前は、産前産後の健診には意味がないと思い、健診を受けていなかったのですが、子どもの成長が遅れてしまいました。今は支援のおかげで、地域保健員が巡回に来てくれるので私の子どもも健康になりました」

ヘレネさん (赤ちゃんを抱っこしている母親)



「以前は読み書きがほとんどできませんでした。学校の先生が研修から帰ってきて、新しい方法で授業をしてくれるようになり、今は読み書きができるようになってきました」

ミラディちゃん (8歳、写真中央の女の子)



「地域を良くしていくのは大人の仕事だと思っていましたが、私たちにも役割があることを学びました。地域の改善のために役立っているのを、とても嬉しく思います」

アイリーンさん
(15歳、写真一番左)

オカピー：草むらに住んでいるシマウマやキリンに似たコンゴ在来の動物





養蜂で子どもたちを学校へ



ジャスティンさんは、支援を通して収穫したハチミツを売った収益で、子どもたちを学校へ通わせ、お腹いっぱい食べさせることができるようになりました

「私には子どもが7人いますが、生活が厳しく、全員を学校に行かせられませんでした。私の地域に住む多くの家族が似たような境遇にありました。自分たちで食べる分の農作物を作るので精一杯で、市場で売ることもできませんでした」とジャスティンさんは語ります。

“子どもを7人とも
学校にやれます”

「そんな時、収入向上に関する研修に参加する機会がありました。研修を受けてから、私は25人の地域の人と一緒に養蜂グループを始めることにしました。今年は100リットルのハチミツを収穫し、そのうちの一部はもっと価値の高いハチミツワインやワックスに加工して売ることが出来ました」

「養蜂をはじめてから、学費が払えるようになり、7人の子どもたちを、全員学校へ送ることができるようになりました。さらに、養蜂グループのメンバーで、村に住む親がいない子ども6人の教育費も払うことにしました」



お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）



e-mail：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号 ZAR-185919

コンゴ民主共和国 カンボブ地域開発プログラム(ZAR-185919)

2017年度(2016年10月1日-2017年9月30日)

会計報告

活動内容

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	60,043,909
前期からの繰越額	-1,183,437
プログラム支援額合計	58,860,472

プログラム支出額	
教育プロジェクト	30,406,529
公衆衛生・保健プロジェクト	5,067,949
農業・生計向上プロジェクト	3,320,224
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,345,263
プログラム支出額合計	54,139,965
次期繰越額	4,720,507

教育プロジェクト

- 学校や教室の建設による学習環境の改善
- 教育の質向上のための教師への研修
- PTAと学校管理職を対象とした識字を向上させる能力を高める研修

公衆衛生・保健プロジェクト

- 授乳の方法や離乳食に関する知識など、子どもの栄養改善に関する研修
- 子どもと妊産婦の保健と栄養を改善するための支援

農業・生計向上プロジェクト

- 食料安全保障につながる農業生産技術と畜産技術の研修
- 起業や生活向上に使う原資を蓄えるための貯蓄グループ活動

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 読み書き計算の能力向上
- 子どもの保護についての啓発活動